

第 2 回社会教育委員会議	
開催日時	令和 6 年 7 月 24 日（水） 午後 3 時～午後 5 時
会 場	ふるまち庁舎 4 階 401 会議室
出席者	<p>【社会教育委員】  今井 岳、江口 和美、小倉 壮平、木村 いほ子、佐藤 裕紀  司山 園美、白神 道子、羽賀 万起子、長谷川 雅朗、山岸 則子  計 10 名 ※敬称略</p> <p>【事務局】  教育次長、生涯学習センター所長、中央図書館長、  生涯学習推進課長、生涯学習推進課職員 6 名 計 10 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和 6 年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会  参加報告について  ○報告資料 1-1～4 に基づき、事務局、議長、副議長より参加報告を行いました。  【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市の提出した協議題はなぜ「障がい者の学びの機会の提供に向けた取組について」になったのか。</li> <li>→第 35 期新潟市社会教育委員会議からいただいた建議「社会的包摂の実現に向けた社会教育のあり方」では、障がい者の生涯学習についても提言いただいたため、今後新潟市で実現していくための参考として、他都市の事例を知るために提出した。</li> </ul> <p>(2) 令和 6 年度社会教育委員等研修会参加報告について  ○報告資料 2-1～2 に基づき、司山委員より参加報告を行いました。  【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市社会教育委員会議事務局には社会教育主事は何人いるか。</li> <li>→生涯学習推進課に 4 人配属されている。</li> <li>・社会教育主事が横の繋がりを持てるような会議はあるか。</li> <li>→今のところ行っていない。</li> <li>・新潟市の面積に対して、新潟市社会教育委員数が少ないようにも感じられるが、市町村合併もあった中でどのような経緯があって現在の定数になったのか。</li> <li>→後日事務局より回答させていただく。</li> </ul> <p>(3) 令和 5 年度社会教育関連事業報告について  ○報告資料 3 に基づき、事務局より書面による報告を行いました。</p> <p>(4) 過去の建議の実施状況について  ○報告資料 4-1～3 に基づき、事務局より書面による報告を行いました。</p> <p>3 その他（※非公開）</p> <p>4 意見交換  ○意見交換資料 1 に基づき、各委員からこれまで行ってきた社会教育に関わる活動について発表し、第 36 期新潟市社会教育委員会議のテーマについて意見交換を行</p>

内 容	<p>いました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <p>&lt;第 36 期新潟市社会教育委員会議テーマの提案について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の意見交換で意見がまとまらなかった場合、議長、副議長、事務局で持ち帰って審議し、議長から第 36 期新潟市社会教育委員会議のテーマを提案してもよいか。</li> </ul> <p>→異議なし</p> <p>&lt;第 36 期新潟市社会教育委員会議の運営について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市の社会教育の現状を知るために、社会教育施設の利用状況や外国籍の子どもの数などを知るための勉強会を行うのはどうか。</li> </ul> <p>→第 35 期新潟市社会教育委員会議のときも、社会教育に関してわからないことが多くあったため、勉強会があるのは有意義だと思う。</p> <p>→勉強会をするのであれば、自分たちの自己研鑽のためでなく、建議書等の策定に向けた調査のために行うべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から意見を求められたものに対して、社会教育委員として助言する時間も入れた方がよい。</li> <li>・第 35 期新潟市社会教育委員会議の時と同様に、調査を行う際は 2 グループに分かれて行うと良いのではないか。ある程度焦点を絞り、意見を言いやすい環境を作るべきである。</li> </ul> <p>→グループ分けはどうやって行っていたのか。</p> <p>→A グループ、B グループ、どちらでもよいの 3 択で意向希望をとった。</p> <p>&lt;第 36 期新潟市社会教育委員会議テーマの候補について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が把握し得る市民の状況等を活用して、社会教育委員会議としても調査するのはどうか。</li> </ul> <p>→その内容を深掘してみないと本当の課題は出てこないのではないかと。ただ、結果が出るのを待っていると、社会教育委員会議としても調査を進められないため、自分たちでも調査していく必要があると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のための地域クラブ活動について、子どもたちの興味関心が多種多様に広がる中で、いかに地域の教育活動の中に活かすことができるのかに興味がある。スポーツ大会で優勝を目指す子はほとんどおらず、友達と仲良く何かを経験したいという子が多いというに、中学校の部活動の種目は限られている現状がある。</li> </ul> <p>→中学生のための地域クラブ活動については、多様な放課後の居場所づくりという観点にも繋がってくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校、高等学校の子どもたちの世代間交流について調査してみたい。</li> <li>・教育委員会内の他部署や市長部局からみた社会教育に望まれることについてはどうか。</li> <li>・各委員の意見をまとめると社会教育施設の館的なことと、人に関することに分けられないか。</li> </ul> <p>→各委員の意見を踏まえると、意味合いが少し違うと思う。社会教育施設の利用状況は行政の効率的な運営についてであり、子どもの居場所の話とは別である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員から出た提案を 2～3 個程度に分ければよいのではないかと。</li> </ul> <p>&lt;建議書や報告書の策定について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間の中で建議書を策定するためにも、調査をどんどん進めていく必要がある。</li> </ul>
-----	--

<p>内 容</p>	<p>→建議書は必ず策定する必要があるのか。建議書を策定しない期もあったのか。報告書の策定でよいのではないか。</p> <p>→前回の第1回会議でも説明したが、建議書や報告書の策定を始めたのは第29期からであり、それ以前は生涯学習推進計画を策定していた。必ず建議書を策定しなければならないかと聞かれると、そうではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員は教育委員に意見を提言できる立場である。今日の会議でも子どもに関することに偏りがちだったが、子ども以外の人たちの社会教育についても検討する必要がある。社会教育委員会議として建議書を策定し、教育委員や教育委員会に提言していくことは重要である。</li> <li>・第35期新潟市社会教育委員会議で実際に建議書の策定に取り組んでみて、大変な作業であると感じた一方で、社会教育委員として調べたことをまとめるのは良い経験だった。建議書の策定は続けた方がよいと考える。</li> </ul> <p>5 閉会</p>
<p>傍聴者</p>	<p>0名</p>
<p>会議資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第36期新潟市社会教育委員会議（第2回）次第</li> <li>・報告資料1-1 令和6年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 会議資料</li> <li>・報告資料1-2 令和6年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会協議題回答&lt;新潟市抜粋&gt;</li> <li>・報告資料1-3~4 令和6年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会 参加報告</li> <li>・報告資料2-1 令和6年度社会教育委員等研修会 研修会資料</li> <li>・報告資料2-2 令和6年度社会教育委員等研修会 参加報告</li> <li>・報告資料3 新潟市教育ビジョン第4期実施計画 令和5年度進捗状況最終評価&lt;社会教育関係課抜粋&gt;</li> <li>・報告資料4-1 第31期・第32期新潟市社会教育委員会議建議の実施状況について</li> <li>・報告資料4-2 第33期新潟市社会教育委員会議 建議「社会教育による次世代育成について」対応状況</li> <li>・報告資料4-3 第34期新潟市社会教育委員会議 緊急提言「新型コロナウイルスの影響と社会教育」対応状況</li> <li>・意見交換資料1 第36期新潟市社会教育委員会議(第2回)意見交換発表資料</li> </ul>